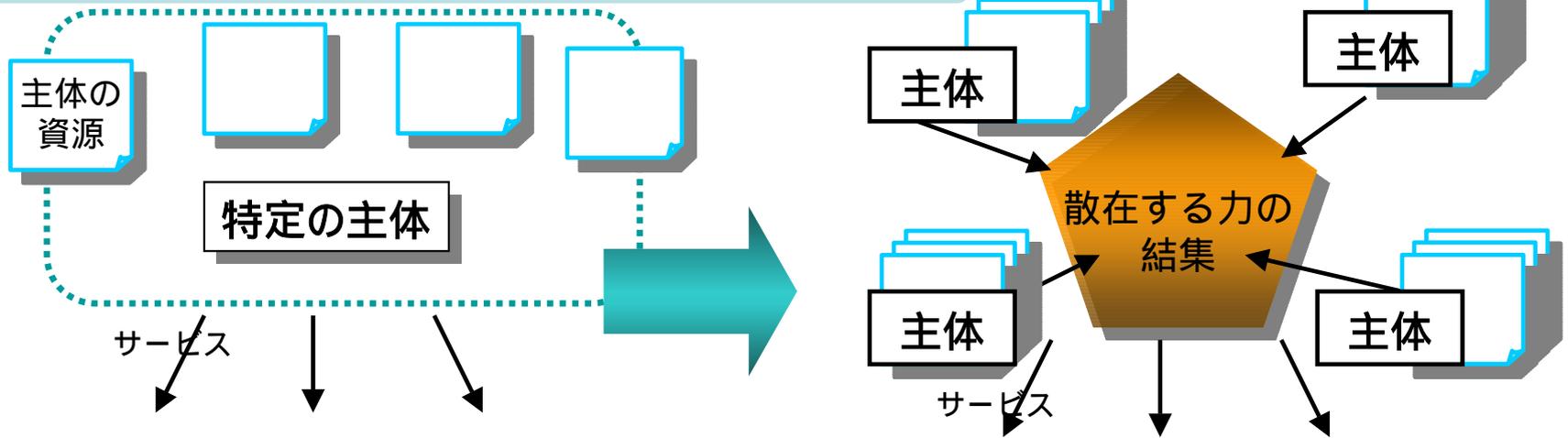


資源集中型から分散型の取組へ ~ 散在する力を結集 ~

ユビキタスネットワークを利用して、地域に散在する知識・資源を結集



従来の地域情報化活動には、特定の主体と、その資源による単独の取組が多くみられた。

地域情報化の在るべき姿は、特定の主体に依拠する活動ではなく地域に散在する力を結集する形である。

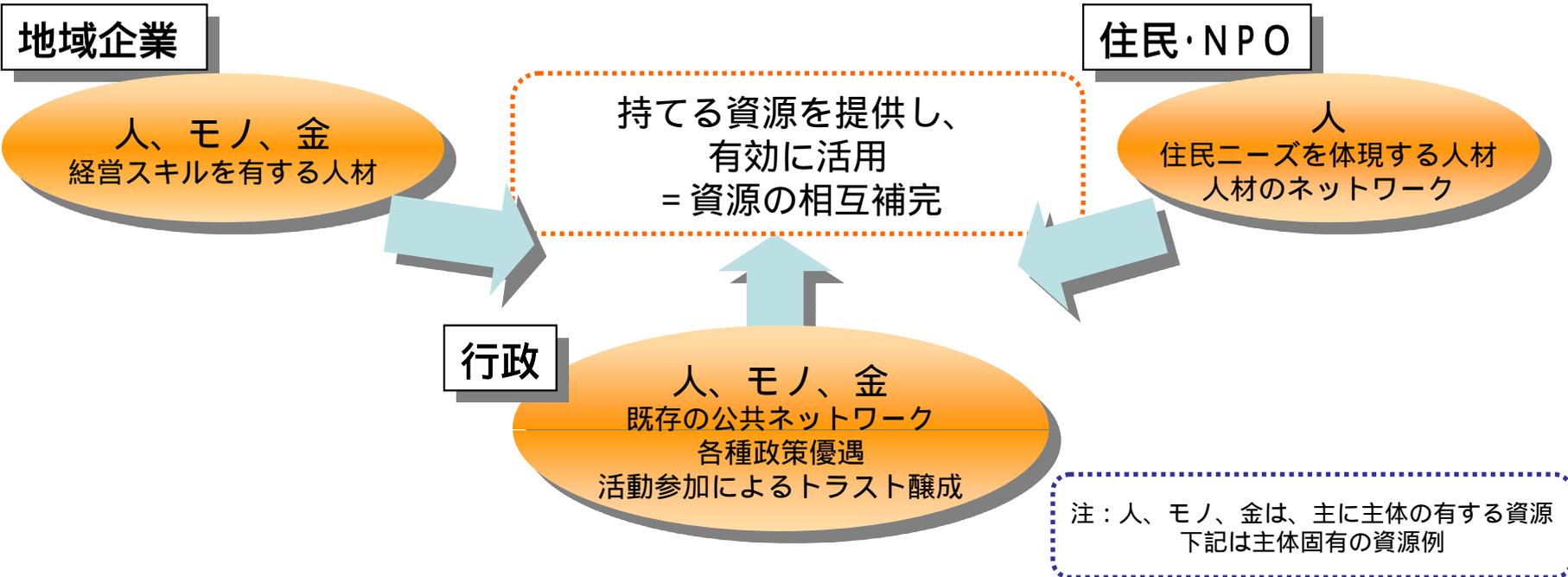
持てる資源の提供による主体間の役割分担について

「各主体がどの資源を提供すべきである」とするのではなく、各主体の固有の資源を見極めた上、有効活用するとともに、資源の相互補完を行うことが重要である。

適切な役割分担について

主体間の役割分担について

地域情報化を行う主体の有する資源例



主体の持つ固有の資源について

ある主体固有の資源を必要とする取組については、当然その主体の参画がなければ活動が成り立ち得ない。例えば、行政固有の資源に依拠する取組ほど、行政の参画（支援）がされる傾向にあり、逆に普遍的に存在する資源に依拠する取組ほど、連携のパターン（連携しないことも含む）は増えることとなる。

ゆえに、主体特有の資源が何かを見極めることが、「役割分担」を画定するうえで重要である。